

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第4区分

【発行日】平成30年4月26日(2018.4.26)

【公開番号】特開2017-157251(P2017-157251A)

【公開日】平成29年9月7日(2017.9.7)

【年通号数】公開・登録公報2017-034

【出願番号】特願2016-37564(P2016-37564)

【国際特許分類】

G 11 B 5/735 (2006.01)

G 11 B 5/70 (2006.01)

G 11 B 5/708 (2006.01)

G 11 B 5/71 (2006.01)

G 11 B 5/738 (2006.01)

【F I】

G 11 B 5/735

G 11 B 5/70

G 11 B 5/708

G 11 B 5/71

G 11 B 5/738

【手続補正書】

【提出日】平成30年3月14日(2018.3.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0139

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0139】

[評価方法]

(1) 1 - プロモナフタレン接触角

接触角測定機(協和界面科学社製 接触角測定装置DropMaster700)により、以下の方法により接触角測定を行った。

ロール状に巻き取った磁気テープをロールの端部から一定長さ切り取り得られたテープサンプルを、バックコート層表面がスライドガラス表面と接触するようにスライドガラス上に設置した。テープサンプル表面(磁性層表面)に測定用液体(1-プロモナフタレン)2.0 μlを滴下し、液滴安定時間として1秒間放置後に、上記接触角測定機に付随の接触角解析ソフトウェアFAMASにより液滴像を解析し、テープサンプルと液滴の接触角を測定した。接触角の算出は / 2 法によって行い、1サンプルにつき 6 回測定した算術平均を、磁性層表面において測定される 1 - プロモナフタレン接触角とした。測定は雰囲気温度 25 および相対湿度 25 % の環境で行い、以下の解析条件で 1 - プロモナフタレン接触角を求めた。

同じ磁気テープロールから新たにテープサンプルを切り出し、磁性層表面がスライドガラス表面と接触するようにスライドガラス上に設置し、上記と同様の方法でバックコート層表面において測定される 1 - プロモナフタレン接触角を求めた。

- ・手法：液滴法(/ 2 法)
- ・着滴認識：自動
- ・着滴認識ライン(針先からの距離)：50 dot
- ・アルゴリズム：自動
- ・イメージモード：フレーム

- ・スレッシホールドレベル：自動